

# 平成30年度 公開研究会（1次案内） 鹿児島大学教育学部附属小学校

## 研究テーマ **新学習指導要領対応**

# 各教科等の見方・考え方を働かせた 深い学びを促す学習指導

新学習指導要領対応の**全学年・全教科等の100実践以上**が掲載されているCD-ROMを頒布します。

※実践集のみの頒布も可能です。



### プログラミング教育

試行授業を公開  
算数科・理科  
総合的な学習の時間

#### 第4時 源平の戦いについて追究する

##### 本時のポイント

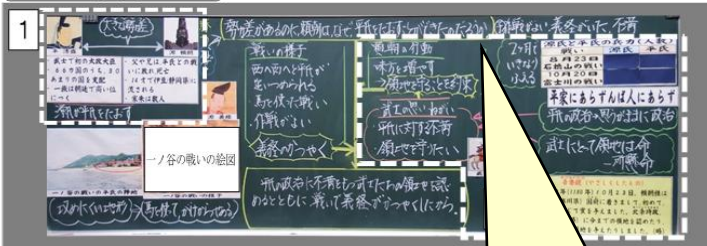
本時では、源頼朝が領地を仲立ちにした武士との関係を築いていったという源頼朝と武士の関係を具体的に理解させるために、源平の戦いの様子や結果に着目して追究するだけではなく、源平の戦いにおける源頼朝と武士の両方に着目して追究できるように学習展開にすることが大切です。

- 1 頼朝が平氏を倒すことができた理由について追究する学習問題を設定する。
- 2 東国の武士たちが源頼朝に味方をした理由を考える活動を設定する。

##### 本時の目標

源頼朝が平氏を倒すことができた理由について、戦いの様子や頼朝と武士の両方に着目し、頼朝や義経、武士の行動に関連付けながら追究することを通して、頼朝が領地安堵を約束することで多くの武士を味方につけ、戦いを工夫した義経の活躍によって平氏を倒したことを捉えることができる。

##### 板書



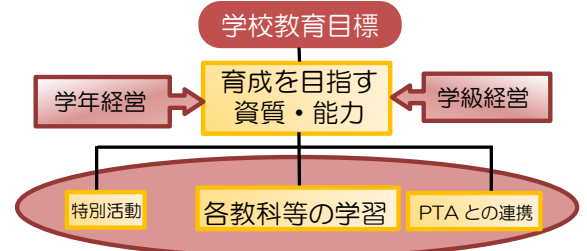
##### 本時の学習の流れ

- 1 本時の学習問題を具体化し、勢力差があったのに、頼朝が平氏を倒した理由を追究する。
- 2 予想を基に学習の進め方（予想）  
・戦いの方が上手だったから。  
・義経が活躍したから。
- 3 一人調べをする。
- 4 頼朝が平氏に勝つことができた理由を追究する。  
(1) 源平の戦いの様子について追究する。  
・義経が源氏軍を率いた。  
・平氏軍に次々に勝った。  
(2) 東国の武士が頼朝に味方をした理由について追究する。  
・平氏の政治に対して不満をもった武士たちが頼朝に味方した理由を追究する。  
・頼朝が自分の領地を認め守ることを約束したから。
- 5 本時の学習についてまとめる。  
・平氏の政治に不満をもった武士たちが頼朝に味方した理由を追究することを通して、頼朝が領地安堵を約束することで多くの武士を味方につけ、戦いを工夫した義経の活躍によって平氏を倒したことを捉えることができる。
- 6 本時の学習について振り返る。  
○追究内容に対して ○追究方法に対して

**明日からの授業づくりに役立つ深い学びを促すための問いを板書とともに掲載！！**

### 社会に開かれた教育課程部会を実施！

教育課程部会では、育成を目指す資質・能力をどのように設定するのか、また、その育成のために各種教育活動をどのように展開させていくのか、共に考えましょう。



子どもと向き合う時間を確保するための取組（週時程や校時表の大幅改訂、会議等運営の改善行事の統合・配列の工夫）について提案します。

**平成30年6月1日（金）**

**公開研究会実施！**

◎ 詳細は、2次案内にてお知らせします。

### 全体講演

〔講師〕 文部科学省初等中等教育局 視学官

**澤井 陽介 氏**

主な著書: 授業の見方「主体的・対話的で深い学び」の授業改善（東洋館出版社）他

